

**大阪モノレール延伸事業では、万全を期すため
環境影響評価を任意で実施**

※参 考

既に道路のある区間にモノレールを設置することから、
環境影響評価は対象外

環境影響評価について

●モノレール供用時：

騒音、振動、低周波音、日照阻害、電波障害

●工事中（建設機械の稼働、工事用車両の走行等）：

騒音、振動、大気質

環境影響評価について

調査・予測位置図－騒音・振動・低周波音－

門真市駅 ～ 東大阪市境



東大阪市境 ～ 近鉄奈良線



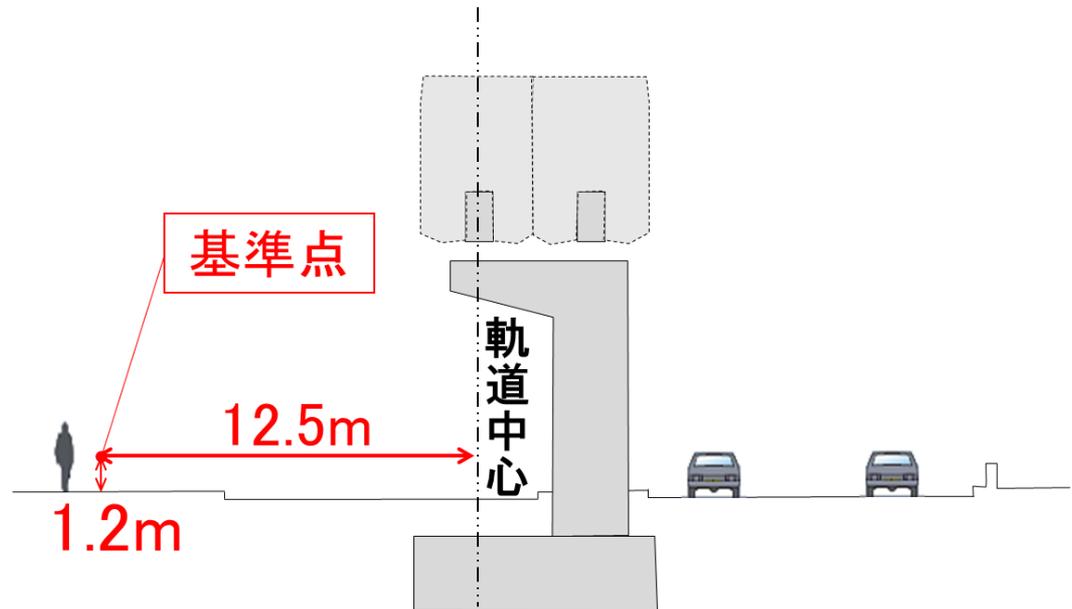
凡例
● : 調査・予測位置

環境影響評価について

騒音 モノレール供用時の予測結果・評価

	等価騒音レベル (L _{Aeq})						環境保全目標
	単位：デシベル						
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	
昼間	59	55	54	60	56	55	60デシベル以下
夜間	54	51	50	56	52	50	55デシベル以下

騒音レベル (デシベル)	目安
40	市内の深夜
50	図書館
60	普通の会話
70	騒々しい事務所
80	バス車内



環境影響評価について

振動 モノレール供用時の予測結果・評価

振動レベル (L _{max})						環境保全目標
単位：デシベル						
No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	
50	45	45	50	45	45	70デシベル以下

環境保全目標値を満足

振動レベル (デシベル)	目安
50	人体に感じない程度
60	静止している人が感じる程度
70	大勢の人が感じる程度のもので、戸、障子がわずかに動く

環境影響評価について

低周波音 モノレール供用時の予測結果・評価

低周波音・平坦特性 (L_{max}) 単位：デシベル						環境保全目標
No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	
88	78	77	89	78	77	90デシベル

環境保全目標値を満足

※参考

低周波音とは、周波数が概ね1Hz～100Hzまでの音を言う。

出典：「よくわかる低周波音」環境省水・大気環境局大気生活環境室

環境影響評価について

●モノレール供用時：

騒音、振動、低周波音、日照阻害、電波障害

●工事中（建設機械の稼働、工事用車両の走行等）：

騒音、振動、大気質

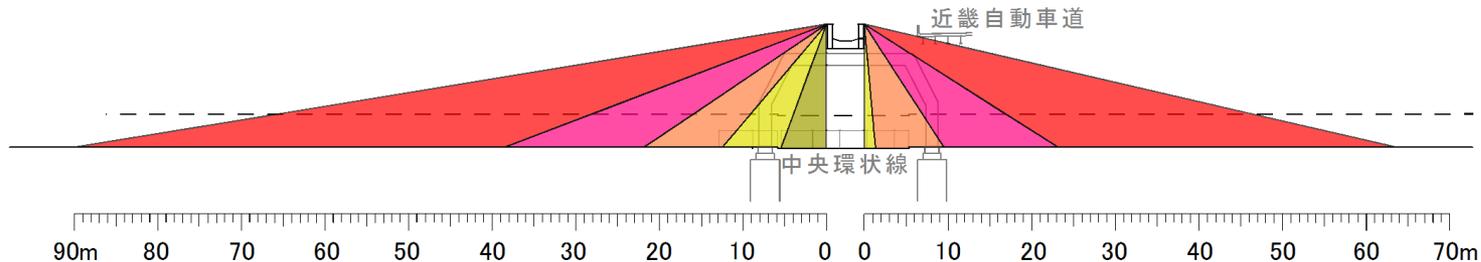
環境影響評価について

【日照阻害】

	環境保全目標	適用
日照阻害	2階高さにおいて、冬至日の8～16時に4時間または5時間以上日陰とならないこと	公共施設の設置に起因する日陰により生ずる損害等に係る費用負担について（S51 建設省）

<予測結果>

日陰の影響が生じる箇所はない予測



環境保全目標値を満足

等時間日影線図 (冬至)

- 0-1 時間
- 1-2 時間
- 2-3 時間
- 3-4 時間
- 4-5 時間

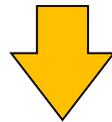
環境影響評価について

【電波障害】

＜予測結果＞

対象局(大阪局(7局)、京都局(1局)、神戸局(1局))

一部地域でテレビジョン電波の受信障害は発生すると予測



構造物完成後において、必要に応じて、調査を行い、本事業による影響であると判断される場合は、共同アンテナ、ケーブルテレビ等で視聴を確保するなど、適切に対応します。

環境影響評価について

●モノレール供用後：

騒音、振動、低周波音、日照阻害、電波障害

●工事中（建設機械の稼働、工事用車両の走行等）：

騒音、振動、大気質

環境影響評価について

【工事中・騒音】

建設機械の稼働に伴う騒音による影響予測結果

現況 平日	現況騒音レベル (L _{A5})						単位：デシベル
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	
	75	70	75	71	59	70	

予測 平日	工事の騒音レベル (L _{A5})						単位：デシベル
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	
	71	74	74	72	80	75	
環境保全目標	85						

環境保全目標値を満足

環境影響評価について

【工事中・騒音】

工事用車両の走行に伴う騒音による影響予測結果

現況 平日	現況騒音レベル (L _{Aeq})						単位：デシベル	
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6		
	72	66	71	67	57	67		

予測 平日	工事の騒音レベル (L _{Aeq})							
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6		
	72	66	71	67	59	67		
環境保全目標	70				65	70		

環境影響評価について

【工事中・振動】

建設機械の稼働に伴う振動による影響予測結果

現況 平日	現況振動レベル (L ₁₀)						単位：デシベル
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	
	50	39	43	48	39	45	

予測 平日	工事の振動レベル (L ₁₀)						単位：デシベル
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	
	49	48	48	47	55	50	
環境保全目標	75デシベル以下						

環境保全目標値を満足

環境影響評価について

【工事中・振動】

工事用車両の走行に伴う振動による影響予測結果

現況 平日	現況振動レベル (L ₁₀)						単位：デシベル
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	
	50	39	43	48	39	45	

予測 平日	工事の振動レベル (L ₁₀)						
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	
	50	39	43	48	47	45	
環境保全目標	70		65		70		

環境保全目標値を満足

環境影響評価について

【工事中・大気質】

短期予測 ※建設機械の稼働に伴う排出ガスによる影響を予測

項目	単位	現況値	予測結果	環境保全目標
二酸化窒素 NO ₂	ppm	0.062～ 0.076	0.112～ 0.125	0.2以下
浮遊粒子状物質 SPM	mg/m ³	0.052～ 0.073	0.072～ 0.108	0.20以下
二酸化硫黄 SO ₂	ppm	0.007～ 0.018	0.007～ 0.018	0.1以下

環境保全目標値を満足

環境影響評価について

【工事中・大気質】

長期予測

※建設機械の稼働に伴う排出ガスによる影響を予測

項目	単位	現況値	予測結果	環境保全目標
二酸化窒素 NO ₂	ppm	0.021~0.030	0.039~0.055	0.04~ 0.06以下
浮遊粒子状物質 SPM	mg/m ³	0.015~0.022	0.039~0.054	0.10以下
二酸化硫黄 SO ₂	ppm	0.001~0.002	0.003~0.005	0.04以下

※工事関連車両の走行に伴う排出ガスによる影響を予測

項目	単位	現況値	予測結果	環境保全目標
二酸化窒素 NO ₂	ppm	0.021~0.030	0.039~0.054	0.04~0.06 以下
浮遊粒子状物質 SPM	mg/m ³	0.015~0.022	0.039~0.053	0.10以下

環境保全目標値を満足